

「事業所職員向け」 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2025.7.1

スタッフ 4 名回答

事業所名： さんぽみち

	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は、改善目標
環境・体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	1	1	2	仕切り、パーテーションのある空間（クールダウンの部屋）	スペースは確保できているが、ワンフロアでありパーテーション等を使用して、隠れ場的にゆったりできるスペース等を確保する必要があり、検討していく。
	②職員の配置数は適切であるか。	1	1	2	人数を増やせばいいわけではなく、少人数でも意識して見れる力をつける	基準人員以上のスタッフを配置している。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	2	1	1		障がい領域が、発達障害の子たちを主に受け入れている。その子たちに合わせた設備にはなっている。
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	0		業務分担に関して、組織票を作成し定期的に会議を開催し問題点等を話合っている。
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	3	0	1		
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	3	0	1		
	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	1		年に1回以上は、外部評価を受けている。
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	4	0	0	個人の意識に任せすぎているため、呼びかけが必要か	研修は年間スケジュールで実施している。
適切な支援の提供	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	1		
	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	2	1	1		今年度からアセスメントシートを改定して実施している。
	⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	1	マンネリ化しやすいため、他部署からも意見を取り入れるなどするべきか	
	⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1	1	マンネリ化しやすいため、他部署からも意見を取り入れるなどするべきか	プログラム選定に関しては、日々の申し送りやミーティングにて修正・実施しているが、追いついていないこともある。
	⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	3	0	1		
	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	0		
	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	4	0	0	役割分担を人任せにならないよう視覚化して意識できるように始めた	
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	0	明日から気をつけること、こういう場合どうする？と言ったことをもう少し共有できるというか	
	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	0		
	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	3	0	1		毎月対象者を、個別支援会議にて検討している。
	⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	0	2		
	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	3	1	0		基本的に、児童発達支援管理責任者が出席している。

関係機関や保護者との連携	②学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	0		
	②医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	2	0	2		
	②就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0	1		サポート架け橋シートを、親御さんに依頼して頂いている。
	②4学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	0		卒業生が他事業へ移行する場合には、情報共有やお試しに同行している。
	②5児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3	0	1		
	②6放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	0	1	3		障がいのない子どもとの活動ということが意味不明である。公園で地域の子たちとの交流がある。
	②7（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	0	3		
	②8日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	0		
保護者への説明責任等	②9保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	1	1	2		ペアレントトレーニングの必要性のある親御様へは案内している。
	③0運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	1		
	③1保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	0		
	③2父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	3	0	1		
	③3子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	0	スピードがないため、起きたらすぐを意識する	苦情対応に関しては、迅速に対応し周知することを再度意識していく必要がある。
	③4定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	0	視覚化（写真や動画）は有効的	
	③5個人情報について十分注意しているか。	4	0	0		
	③6障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	0		
非常時等の対応	③7事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	0	1		
	③8緊急対応マニュアル防犯、マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	2	0	2		（第三者委員）熱中症対策をしっかりと行ってください。
	③9非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	0		
	④0虐待を防止するため、職員を研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	1		
	④1どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	0		
	④2食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	0	3		
	④3ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	4	0	0		